

1. 科目名（単位 数）	異文化理解（2 単位）	3. 科目番号	EDEN3331
2. 授業担当教員	野口 生也		
4. 授業形態	講義、ペアワーク、グループ学習、グループ発表	5. 開講学期	春期（伊勢崎・池袋）
6. 履修条件・ 他科目との関係	「履修要項」及び「授業時間割表」要確認		
7. 講義概要	国際社会や世界との関わりの中で、他者と効果的なコミュニケーションを行う力を育成するために、コミュニケーションの手段としての外国語やその背景にある文化の多様性及び異文化コミュニケーションの現状と課題について学んでいく。また、さまざまな英語圏の文化を通じて、英語による表現力への理解を深め、中学校及び高等学校における外国語科の授業に必要な知見を身に付けていく。 本講義における学習事項としては、1. 異文化コミュニケーションの現状・課題と基礎概念、2. 異文化交流の体験過程と文化多様性の意義、3. 英語文化圏の歴史・社会・文化、以上3点を適宜扱うものとする。		
8. 学習目標	1. 世界の文化の多様性や異文化コミュニケーションの現状と課題を理解している。 2. 多様な文化的背景を持った人々との交流を通して、文化の多様性及び異文化交流の意義について体験的に理解している。 3. 英語が使われている国や地域の歴史、社会、文化について基本的な内容を理解している。		
9. アサインメント （宿題）及びレポ ート課題	1. 学習課題の事前学習と事後学習を行うこと。 2. 授業内課題は授業の終わりに提出すること。 3. グループ発表で自分が担当する箇所のpptファイルを第13回授業日までに提出すること（発表とともに 評価の方法「2. 試験」として評価）。		
10. 教科書・参考 書・教材	【教科書】なし 【参考書】授業時に指示する。 【教材】事前に次回「授業内容」の資料を配布する。		
11. 成績評価の規準 と評価の方法	○成績評価の規準 1. 世界の文化の多様性や異文化コミュニケーションの現状と課題を理解できるようになったか。 2. 多様な文化的背景を持った人々との交流を通して、文化の多様性及び異文化交流の意義について体験的に理解できるようになったか。 3. 英語が使われている国や地域の歴史、社会、文化について基本的な内容を理解できるようになったか。 ○評価の方法 以下の点を総合して評価する 1. 授業への参加態度 総合点の 30% 2. 試験（小テスト・期末テスト・口頭発表試験 等） 総合点の 30% 3. 提出課題（レポート等） 総合点の 40% なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は、単位の修得は基本的に認められない。		
12. 受講生への メッセージ	分からないことや共有したいことがあれば、積極的に発言しましょう。ペアやグループでの活動では、お互いを尊重し、協力しましょう。		
13. オフィスアワー	授業内で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	シラバスの説明 異文化理解と言語について	事前学習	シラバスを読み、扱う内容について把握する。
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。
第2回	異文化理解とグローバリゼーション	事前学習	資料を読み、難しい用語の意味を調べる。
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。
第3回	異文化理解の意義	事前学習	資料を読み、難しい用語の意味を調べる。
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。
第4回	文化の定義	事前学習	資料を読み、難しい用語の意味を調べる。
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。
第5回	文化と権力	事前学習	資料を読み、難しい用語の意味を調べる。
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。
第6回	コミュニケーションの意義	事前学習	資料を読み、難しい用語の意味を調べる。
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。
第7回	コミュニケーション能力	事前学習	資料を読み、難しい用語の意味を調べる。
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。
第8回	ことばと権力	事前学習	資料を読み、難しい用語の意味を調べる。
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。

第 9 回	英語と帝国主義	事前学習	資料を読み、難しい用語の意味を調べる。
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。
第 1 0 回	言語の画一化 ※発表グループ分け	事前学習	資料を読み、難しい用語の意味を調べる。
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。グループで発表内容と担当を話し合う。
第 1 1 回	標準語と方言	事前学習	資料を読み、難しい用語の意味を調べる。
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。自分の発表箇所を準備する。
第 1 2 回	多言語主義と言語権	事前学習	資料を読み、難しい用語の意味を調べる。
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。自分の発表箇所を準備する。
第 1 3 回	非言語 ※発表 ppt ファイル提出	事前学習	資料を読み、難しい用語の意味を調べる。
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。グループで発表のリハーサルをする。
第 1 4 回	グループ発表とディスカッション①	事前学習	グループで打ち合わせと発表の最終リハーサルをする。
		事後学習	発表後の反省点やディスカッション内容を整理する。
第 1 5 回	グループ発表とディスカッション② 授業全体の総括および提出物確認	事前学習	グループで打ち合わせと発表の最終リハーサルをする。
		事後学習	発表後の反省点、ディスカッション、総括の内容を整理する。